

令和4年度第1回中四国学生弓道連盟臨時代表者会議議事録

会議日時：令和4年10月13日（木）20:30～

場所：愛媛県西条市総合体育館

1. 定足数の確認

中四国学生弓道連盟委員長「それではまず、定足数の確認を行います。先ほど確認したところ、出席30校、委任状12校より、全加盟校の3分の2以上の出席があるため、本会議は成立します。まず、配布書類一覧をご覧ください。本日の配布書類を確認します。こちらの書類が1部と、議事次第が1部、全国大学弓道選抜大会出場校選考方法の変更案が1部、伊勢大会予備出場枠選出方法が1部、令和4年度中四国新人戦用の誓約書が1部、連盟誌「鳳雛」の原稿依頼が1部、令和3年度中四国学生弓道連盟会計決算報告書が1部、令和3年度中四国学生弓道連盟会計監査報告書が1部となっております。」

2. 全国大学弓道選抜大会に関して

委員長「では、まず最初に全国大学弓道選抜大会に関してです。令和4年度の中四国学生弓道連盟の代表者会議で、選考方法が男女とも中四国学生弓道選手権大会決勝リーグの最終順位上位4校を翌年度の選抜推薦校とし、5位、6位を予備推薦校とするということを決定しました。全日本学生弓道連盟に確認したところ、準加盟校も推薦対象となります。全国大学弓道選抜大会の開催時期について、第35回が来年の6月あたりに行われる見込みです。」

3. 伊勢大会(王座大会、東西対抗戦)に関して

委員長「次に、伊勢大会の予備出場枠選出方法をご覧ください。こちらは去年の資料と同じになっておりますので、新たに付け加えることはございません。良くご覧になっておいてください。」

4. 中四国新人戦の誓約書について

委員長「次に、中四国新人戦の誓約書についてです。中四国学生弓道連盟規約に、新人戦の参加資格は団体戦において2年生以下、個人戦において1年生に限ることが規定されています。ただし、規定以上の学年においても誓約書を提出し、特別な事情があると判断した場合のみ出場を認めます。2年生で入部したなど該当する方は誓約書を委員長宅まで送るか、データでも構わないのでメールなどでお送りく

ださい。過去に一度でも新人戦に出場された方は個人戦には出場することが出来ません。また、通常の1年生については誓約書の提出は必要ございません。なお本年度分の誓約書に関しましては、今回配っているものに加えて後ほどHP上にもアップロードしますので、ご利用ください。」

5. 鳳雛原稿依頼について

委員長「次に、連盟誌『鳳雛』の原稿依頼についてです。今年も『鳳雛』の原稿を依頼させていただきます。こちら配布資料の方を確認していただきたいのですが、締切が令和4年12月15日となっております。記載されています私のメールアドレスにお送りください。また、原稿には、大学名、題名、執筆者名を必ず明記してください。また、成績優秀者、成績優秀校には別に原稿を依頼します。」

6. 連絡事項

委員長「次に連絡事項に移りたいと思います。それでは副委員長の武内くんお願いします。」

副委員長「はい。連絡事項です。連絡先の変更についてです。今後部の幹部や連絡係が交代することがあると思いますが、連絡先変更届を提出される場合には、幹部と連絡係は必ず分け、各校2名以上の方と連絡が取れる状態にしてください。また、引継ぎの際は加盟校LINEグループへのご参加も併せてお願いいたします。学連と皆様との確実な連絡を可能にするため、ご協力よろしく願いいたします。次に、郵便物に関してです。特に指定されない限り全ての郵送物は委員長宅へ郵送して下さい。郵送物は書留郵便では郵送しないで下さい。委員長が不在で受け取れなかった場合に、締切日までに受け取る事ができません。また、郵送物の料金は確認してから郵送して下さい。次に、会計関連です。連盟費、部員登録費等のお金に関するものは、連盟指定の口座に振り込んでください。昨年度より、全日学連に関する費用は各大学から全日学連へ直接振り込む形に変更となりましたのでご注意ください。詳しくは全日学連HPをご確認ください。中四国学連関係の費用を振り込んだ際は、明細書の提出と振り込んだ内容の内訳を会計担当者にメールで連絡することを併せてお願いいたします。明細書はこちらの指定する明細書をご利用ください。振り込む際の名前は大学名にするようお願いいたします。今後も原則として、全日本学生弓道連盟のWebサイトで部員登録を行ったら、指定された徴収期間にその人数に応じた金額を全日学連・中四国学連それぞれの口座に振り込むようにしてください。また、追加部員登録をされる際はどの方を登録されたのか確認できませんので、学生証コピーの郵送を併せてお願いいたします。以上です。」

委員長「はい。ありがとうございます。付け加えてと言いますか、今部員登録費、連盟費を集めていると思うのですが、そちらのメールを委員長の方ではなくて、会計の方に送るようお願いいたします。今までに送って下さった方は構わないので、これから送ってくださる方は必ず会計の方をお願いいたします。ここまでで何か質問はございますでしょうか。」

高知大学「高知大学です。中四国新人戦についてなのですが、昨年の新人戦が新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催されなかったと思います。中四国学生弓道連盟規約では2年生以上の学年においても特別な事情があると判断した場合のみ出場を認めるとのことですが、新型コロナウイルス感染症はこの場合の特別な事情に含まれるのかということについて、お答えいただきたいです。」

委員長「はい。新型コロナウイルス感染症を特別な事情に含むのは適切ではないと考えています。」

岡山大学「岡山大学です。昨年の1年生つまり今年の2年生の出場は認めないということでしょうか。」

委員長「はい。時間の関係ですとかさまざまな事情があり、そこは主管校と詰めていくのですが、おそらく2年生の出場を認めることはありません。もし認めるとなると大会日程を増やさなければならず、費用などの問題が生じるため、不可能だと考えています。」

〇〇大学「2年前は2年生の出場を認めましたよね。今回は2年前と同じにはならないということですか。」

委員長「はい。その可能性が高いということです。何か質問はございますでしょうか。— なさそうですね。はい、ありがとうございます。」

7. 議題

7.1. 令和3年度会計決算報告

委員長「では次に、議題に移りたいと思います。まず、令和3年度の中四国学生弓道連盟の会計決算報告について報告させていただきます。では、会計の岡本さんお願いします。」

会計「ご紹介にあずかりました、会計の岡本です。2021年度中四国学生弓道連盟会計決算書と書かれた資料をご覧ください。収入の部、支出の部などの構成は前回の代表者会議と同じです。前回の代表者会議の会計決算見積書からの変更点のみを説明させていただきます。変更点は1点のみで、本学連関係の支出の部についてです。中四国学生弓道連盟決算書の右上をご覧ください。大会で使用する防護板を購入したため、鳳雛代の下に、防護版購入費として352000円を記載しております。そのため、右下にある次月への繰越金が前回よりも352000円差し引かれております。以上で説明を終わらせていただきます。」

委員長「はい。ありがとうございました。それでは、会計監査から監査報告をさせていただきます。では東和田さんお願いします。」

会計監査「はい。本年度会計監査の東和田です。今回の中四国学生弓道連盟会計決算報告書と預金通帳を確認し、2021年9月1日から2022年8月31日の期間において照らし合わせたところ、正確にて適正であることを報告します。以上です。」

委員長「はい。ありがとうございます。何か質問はございますでしょうか。__なさそうですね。それでは会計決算報告について承認していただける方は挙手の方よろしくお願ひいたします。__はい、ありがとうございます。2021年9月1日から2022年8月31日の会計決算報告は承認されました。」

7.2. 全国大学弓道選抜大会出場校選考方法の変更案について

委員長「それでは次に、全国大学弓道選抜大会出場校選考方法(変更案)をご覧ください。

こちらこの前の代表者会議で選考方法は決まったんですけども、細かい順位決定の方法がまだ決まっていない状態です。事前にアンケートを取らせていただいたところ、こちらの内容でおおむね問題がないという回答が多かったと思います。まず、他に良い案がある方いらっしゃいますか。」

高知大学「中四国学生弓道選手権大会で翌年6月の全国大学弓道選抜大会の出場校が選考されるということなんですけれども、現状、中四国大会に出場されているのは3年生を主体にしたチームが多いと思います。しかし、翌年の選抜大会は現2年生が主体となったチームになってくると思います。そう考えたときに、中四国大会で選考して、翌年の6月の段階で選考通りの序列で選抜大会に送り出せるのだろうかという疑問に思いました。前回の代表者会議で、このことについて話されていなかったのも、そもそも中四国大会で代表校を4校決めるというのが適切なのかということについて考えをお聞きしたいです。」

委員長「中四国学生弓道選手権大会以外の他の大会で決めるとなると、中四国新人戦があると思うんですけども、新人戦でも学年の制約があり、それこそ真の力を測れないため、中四国大会しかないのではないかと考えております。」

高知大学「私の考えとしては、新人戦の学年の制約をなくすという案か、選抜大会選考のための新しい大会を設けるというのが良いのではないかと思います。新しい大会を設けるのはやはり移動のコストや大会のコスト等、問題もいろいろあると思うので、新人戦の学年の制約をなくすというのが現実的なのではないかと思ひます。」

委員長「ご意見ありがとうございます。その考えもありだとは思ひんですけども、他の加盟校の方はこれに関して何かご意見ございますか。」

岡山理科大学「岡山理科大学です。そもそも新人戦を実施するには、1,2年生の出場機会という目的があるので、出場制限をなくすことは選抜大会の出場校を決

めるためにはもしかしたらよいのかもしれないですけど、新人戦の趣旨としてはずれてしまうのではないかなと思います。3年生が引退して中四国大会から選抜大会でメンバーが変わるといふことがあるとは思いますが、それは仕方のないことなのかなと考えています。」

委員長「はい。ありがとうございます。そうですね。1,2年生の出場機会という目的で新人戦があるので、新人戦を選抜大会の選考のための大会にするというのは難しいとは思いますが。他の方、何かご意見ございますか。」

愛媛大学「愛媛大学です。新人戦は選抜大会の選考のための大会にしないほうが良いと思います。そうなった場合、新しい大会を設けるという方法も良いのではないかなと自分は思います。やはり、中四国大会で3年生が主体で出場して、選抜大会の出場権を得たとしても、3年生が引退してしまったら、3年生は選抜大会の出場権を取ったのに選抜大会に出ていないという事態が毎年起こっています。この場合、3年生は何のために選抜大会の出場権を取るのかということがあまりわからなくて、意味がないというか、3年生のモチベーションにつながらないということも考えられると思います。あと、中四国大会の試合の形式と、選抜大会の試合の形式とが全く違ったり、中四国大会は6人立ちで、選抜大会は5人立ちと人数も同じでなかったりするのよくないのではないかなと思います。なので、選抜大会の選考のための新しい大会を設けるというのも良い案なんじゃないかなと思います。今回の中四国大会については前回の代表者会議で決まっているので、来年以降のことについて、このことを考えたらよいのではないかなと思います。」

委員長「はい。私もそう思います。とりあえず意見を聞いてみたかったので、意見をまとめてみました。第2回臨時代表者会議でさらに詰めて話せればと思います。では、今の変更案に関して何か案がある方いらっしゃいますか。案ではなくて意見でも大丈夫です。」

岡山商科大学「3年生が引退して次の代で2年生が選抜大会に出ることについてなのですが、中四国地区では3年生で引退することが多いと思うんですけど、他の地区では4年生まで弓道が続けるというのがあたりまえなので、中四国地区の3年生で引退するという文化のせいでこの問題が起きていると思うんですよ。なので、このことを問題に思うなら弓道を4年生まで続けるしかないのではないかなと思います。あと、中四国新人戦に関して、もともとうちの監督が全国で中四国地区が勝てないのは1発勝負が弱いからという理由で、リーグ戦じゃなくてトーナメントにしようというのを提案したんですよ。なので、トーナメント形式の中四国新人戦で2年生が1発勝負で強くなれて、そのまま選抜大会でもトーナメントに挑めるから、そのままでも良いのではないかなという気がしています。」

委員長「はい。ありがとうございます。そのようなバックグラウンドがあるということですが、今回の会議では、そこについてはあまり深堀しないようにしようと思うのですが、第2回代表者会議で取り上げようと思います。今の順位決定の方法について何かご意見ある方はいらっしゃいますか。」

岡山理科大学「岡山理科大学です。現在の順位決定方法だと、決勝で順位が勝ち数と総的中数が同じだった場合は、予選的中数が多い方が上位になるとあるんですけど、もう1つの案として、例えば4位のチームが2チームや3チームあったとしたら、そのチームの直接対決の結果を反映して順位を決めるという方法もありなのではないかと思います。」

委員長「はい。ありがとうございます。たしかにこのような考えは前回の会議では出ていなかったですね。他に案はございますか。__なさそうですね。それでは先ほどの案について何かご意見ある方はいらっしゃいますか。__先ほどの意見では、順位が同じ場合は直接対決の結果を反映するというのですが、全国大学弓道選抜大会への出場推薦校の選考方法(変更案)の資料でいうと、2)と3)の間に入れるということで間違いないでしょうか。」

岡山理科大学「そうですね。おそらく上位3位は1)と2)で決まると思うのですが、4位以下の順位に関しては、中四国大会では4位以下は表彰しないので同率であっても問題ないのですが、中四国大会の上位4位が選抜大会の出場校となったので、4位の決め方についてリーグ戦における直接対決の結果を反映すればいいのではないかという意見です。ですので、2)と3)の間に入ると思います。」

委員長「これはもし4位に3チーム並んだらどうなるのでしょうか。」

岡山理科大学「3チーム並んだ場合について、例えば、3チームとも1勝2敗であった場合とかはまた1つ下の決定方法に移ればよいのではないかと思います。その方が選手としては納得しやすいのではないかと思います。」

委員長「では、これについて何かご意見ある方はいらっしゃいますか。__整理すると、4位以下の順位決定について、同率になった場合に同率になったチームとの勝敗を使うということですね。これを2)と3)の間に入れる決定方法がよいのか、それとも変更なしの決定方法がよいのかということについて何かご意見ございますか。」

高知大学「私としては、同率になったチームとの直接対決の結果は入れない方がよいと思います。理由としては、直接対決の結果を入れてしまうと、直接対決の時にたまたまイレギュラーが起きてしまった場合が考慮されないことがあります。やはり昨年度もあったように、的の跳ね返りだとか、相手からのプレッシャーだとかいうイレギュラーな部分をできるだけ排除するべきなのではないかと思う

ので、直接対決の結果を入れずに、予選などのできるだけフェアな部分で判断すべきなのではないかと思います。」

委員長「はい。ありがとうございます。他にご意見ございますか。__今新しい案が出て、どうしようかなという迷いもあると思うんですけれども、もう意見はなさそうですので、多数決を取らせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。」

高知大学「先ほど、フェアじゃないと申し上げたのですが、このことについて詳しく話させていただくと、リーグの立ち位置によって引く射場だとか、直接対決が行われた試合が何試合目だったのかという部分が少し変わってくるので、射場の見え方の慣れや、疲労の蓄積に差が出てしまうのではないかという意味です。予選の段階では、移動の距離に違いはあれど、疲労の度合いというのは基本的に全チーム一緒であると思うので、予選の結果を使うべきなのではないかと思います。」

委員長「はい。ありがとうございます。先ほど岡山商科大学の方もおっしゃったように、中四国大会はリーグ戦で、先攻チームの的中が良ければ確かに後攻は不利ですし、その逆もあると思うので、そういった意味でトーナメント形式の選抜大会との違いはあると思います。他にご意見ございますか。」

岡山商科大学「矢が跳ね返るとかそこまで考慮していたら、正直きりが無いと思うので、私は岡山理科大学さんの意見に賛成です。跳ね返りだとか疲労だとかいうのは、どのチームも大会の中で経験するのは一緒だと思いますし、そこを考慮する必要はあまりないと思います。」

委員長「はい。そうですね。跳ね返りとか疲労に関しては仕方ないと割り切るべきだと思います。他にご意見ございますか。__なさそうですので、多数決の方に移らせていただきます。選択肢は2つあって、1つは今お配りしている資料にある順位決定方法で、もう1つは先ほど岡山理科大学さんが提案してくださった、4位以下が同率だった場合は同率になったチームとの勝敗を資料の2)と3)の間に入れる順位決定方法です。ではまずお配りしている資料にある順位決定方法が良いと思う方は挙手をお願いします。__はい。ありがとうございます。次に、資料の2)と3)の間に追加する順位決定方法が良いと思う方は挙手をお願いします。__はい。ありがとうございます。集計の結果、15対15という結果になりました。意見を変える方はいらっしゃいませんか。いらっしゃいませんね。中四国学生弓道連盟規約の18条に、多数決で半々になった場合は議長が決定するという内容があるので、今回は私が決めさせていただきます。今大会に関しては、今お配りしている順位決定方法に決めようと思います。今回岡山理科大学さんが提案してくださった案については、次の第2回臨時代表者会議で決めようと思います。」

8. その他、質問、意見等

委員長「最後に、質疑応答がある方いらっしゃいますか。—いらっしゃいませんね。それでは第1回臨時代表者会議を終了させていただきます。長い時間お疲れ様でした。」